

頸頸動脈超音波検査報告

患者ID： 1

前回の有無： なし

氏名： 健康 花子さん

年齢： 68歳

性別： 女性

【臨床診断・症状】

身長：175cm、体重：80kg、BMI：26.1kg/m²、血圧：145/75mmHg

1日の喫煙本数：10本/日、喫煙年数：30年間、Brinkman Index：300、飲酒量：1.8合/日

【基礎疾患】

高血圧症 脂質異常症 糖尿病 心筋梗塞 脳梗塞 脳出血 抗血小板薬

Bruit(左) ○あり ●なし Bruit(右) ○あり ●なし

【左頸動脈】

平均IMT：0.5mm、0.3mm、0.7mm

最大IMT：1.3mm、Plaque Number：2個

Surface：Regular

Plaque：あり、Calcification：なし

Echogenicity：Isoechoic,Homogeneous type

【右頸動脈】

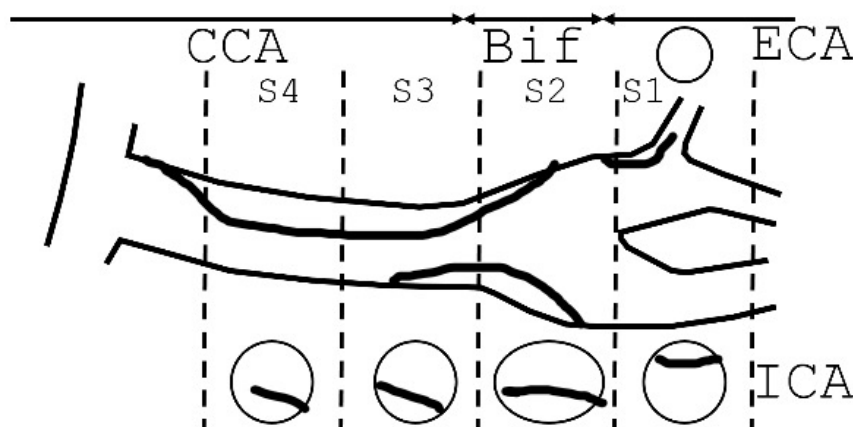
平均IMT：0.5mm、0.9mm、1.0mm

最大IMT：2.3mm、Plaque Number：4個

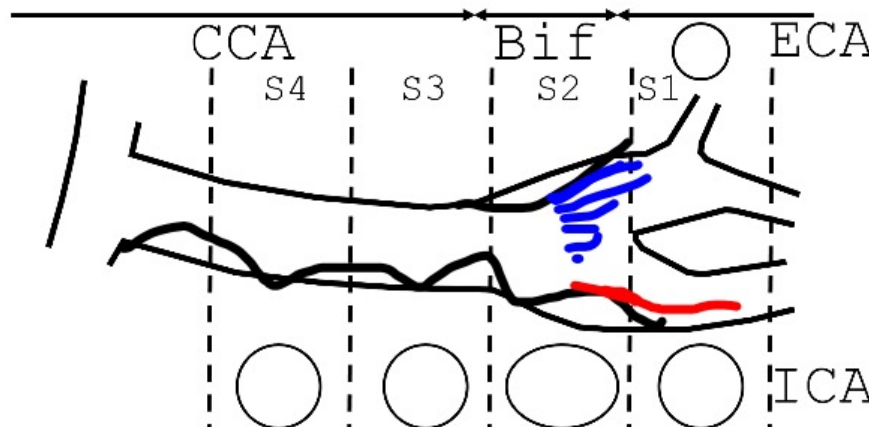
Surface：Regular

Plaque：あり、Calcification：なし

Echogenicity：Hyperechoic,Homogeneous type



Stenosis：66.7%(NASCET)、73.3%(ECST)
左総頸動脈血流(EDV)：35mm/sec



Stenosis：61.5%(NASCET)、68.8%(ECST)
右総頸動脈血流(EDV)：26mm/sec、ED ratio：1.3

【所見】

Lt：平均IMTは、正常範囲内ですが、プラークを認めます。また、石灰化は認められませんでした。早期動脈硬化研究会分類では、『IIa型プラーク』に該当します。

Rt：平均IMTは、軽度肥厚を認め、プラークも認めます。また、石灰化は認められませんでした。早期動脈硬化研究会分類では、『Ia型プラーク』に該当します。

左頸動脈の狭窄率について、NASCET法では66.7%であり、ECST法では73.3%が認められる。右頸動脈の狭窄率について、NASCET法では61.5%であり、ECST法では68.8%が認められる。

椎骨動脈について、椎骨動脈の異常は指摘できません。

甲状腺：異常(あり)、腫瘍(最大：12mm、場所：①、⑤、⑦)、内部エコー：均質、エコーレベル：高～低、境界部：整、低エコー帯：不整、

【その他】：たくさんのSOLが認められる。

#1. Severe carotid atherosclerosis

(軽度～中等度の肥厚、高度なplaque)

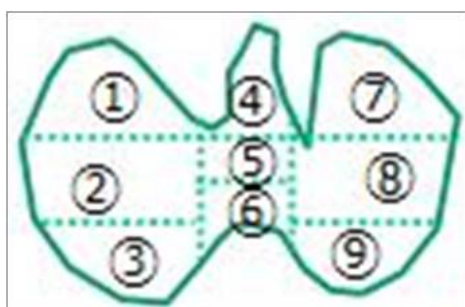
健診レベルでは、C2：治療中に該当

#2.

#3.

#4.

【甲状腺における今後の方針】：嚢胞を認めます。



検査日：令和元年05月02日、検査担当：検査技師1

〇〇大学病院

Tel：092-xxx-xxx1、FAX：092-xxx-xxx1